

令和6年度 事業者向け放課後等デイサービス評価表

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		その日の活動内容により居室を分けたり、グループ分けをして工夫をしています。
②	職員の配置数は適切であるか	○		子どもが不安定な時や、トラブルの際に適切に対応できるように専門の知識をもつスタッフを配置しています。
③	事業所の設備等は、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		手すり、スロープ、玄関段差の解消などバリアフリー化をしています。
④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	○		日々のミーティングに時間をかけて話し合いを行っています。
⑤	保護者等向け評価表によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者向け評価表アンケートを実施して、業務改善につなげています。
⑥	この評価結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページ等で公開しています。
⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	今のところを行うことができておりません。
⑧	職員の資質の向上を図るために、研修の機会を確保しているか	○		確保しています。
⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		作成しています。
⑩	子どもの適応行動の状況を標準化されたツールを用いたアセスメントにより確認しているか	○		使用しています。
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		日々のミーティングで話し合いをして決めています。
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		一年を通じて、色々な活動を取り入れて工夫をしています。自由活動の中で遊べる玩具を変えたり、四季折々に応じた創作活動を行っています。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		長期休暇の際は地域交流をメインに公共の施設に遊びに行ったり、お買い物体験、社会見学をしています。

⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		個別活動についてはニーズもなく、集団におけるコミュニケーションの取り方や過ごし方に重点を置いて支援しています。組み合わせに関してはニーズがあった場合に検討していきたいと思います。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎朝のミーティングで話し合っている確認しています。
⑯	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援終了後その日のうちや、翌日のミーティングで毎日話しています。
⑰	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々の記録は「事実と考察」「支援と様子」の2観点から記録をとるようにしています。また、検証・改善が必要な場合は支援終了後その日のうちや翌朝のミーティング等で話し合っています。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し適切な見直しを行っているか	○		定期的なモニタリングの他、急な変化にも対応しています。
⑲	ガイドラインの「5領域」に合わせて支援を行っているか	○		行っています。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した者が参画しているか	○		管理者・児童発達支援管理責任者が参画しています。
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適宜行っているか	○		学校との情報共有及び連絡調整等、教頭・担当の先生と共有しています。また、送迎の際には担任の先生と情報の共有をしています。また、気になる事項等がある児童については、学校にて連携会議を開催してもらっています。
㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		小学一年生の新規利用が決まった際には、幼稚園や保育園を訪問し、園長と担任の先生と面談を実施しています。
㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		スムーズに移行できるように、保護者・学校・関係機関と十分に情報交換をしています。
㉔	児童発達支援センターとの連携を図り助言や研修を受ける機会を設けているか	○		積極的に研修参加に努めています。
㉕	地域、商店街との交流や、公園公共施設の利用等で、障害のない子どもと交流する機会があるか	○		自治会・児童公園・公共施設で沢山の児童と交流しています。また「のしろであいのコンサート」に参加しています。その中で、市民の方々に障害児の相互理解を発表してきました。
㉖	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		参加しています。
㉗	日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		保護者に自宅送迎の際、活動の様子等の話をしてきています。また定期的な面談をし、共通理解ができています。
㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の家族支援を行っているか	○		連絡帳・電話相談・個別面談などで相談を受けた際には、教育・医療・行政とも連携を取り、保護者支援を行っております。

②9	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約の時にきちんと説明を行っています。
③0	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		自宅へ送って行った際、またお迎えの際に毎日保護者に直接話をしている他、定期的な面談、必要に応じて適宜面談をしています。また、保護者の悩みや相談を気軽にできるような関係を作っています。
③1	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情に限らず、疑問点等も気軽に話せるような関係作りを心がけています。
③2	定期的に会報等を発行したりHP、SNSを活用し活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		今年度は会報を発行することはできませんでしたが、行事に関するお知らせはおたよりや連絡帳を活用しています。また、行事での様子や、日頃の遊びの様子をHPで公開しています。
③3	個人情報に十分留意しているか	○		個人名の記載がある書類、データが入っているパソコンは施錠して保管しています。また職員には、秘密保持及び個人情報に関する誓約書に署名、捺印をとりつけて徹底しています。
③4	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		配慮しています。
③5	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		ハロウィンには自治会長さんや近くの事業所へ足を運びプレゼントをいただきました。また、クリスマスには当事業所内で地域の方にサンタに扮していただき、子どもたちにプレゼントを配ってもらい沢山の交流ができました。
③6	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		周知しています。
③7	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		避難場所の確認を含めて自主訓練を行いました。
③8	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		令和6年度障害者虐待防止、権利擁護研修に参加しており、事業所内の伝達研修も終了しております。
③9	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		契約の際に説明をし、同意書に署名、捺印をいただいた上で、計画書に記載しています。
④0	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		医師の指示書は受けていないが、家族からの情報を得て対応しています。